

ふれあいの心がつまっています。

# ほけつと

2016 WINTER  
第108号

野木町社協情報誌 **NOGI-TOWN POCKET**

この情報誌は、一部赤い羽根共同募金配分金により発行しています。

12月13日

## 平成27年度福祉講演会



### 目次

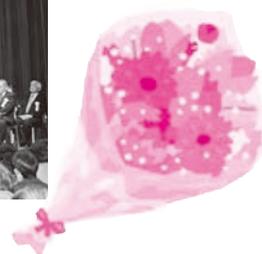
- P2 平成27年度福祉講演会実施報告
- P3 ボランティア取材レポート
- P4 平成27年度  
赤い羽根共同募金実績報告
- P5 街かどカフェすまいる
- P6 ボランティア募集
- P7 ボランティア活動保険のお知らせ  
ふれあい福祉総合相談のお知らせ
- P8 第2回 ひとりぐらし高齢者の  
交流会のお知らせ

# 平成27年度福祉講演会

平成27年度福祉講演会（町社会福祉協議会主催）が、平成27年12月13日、エニスホール小ホールで開催されました。式典では、日頃から社会福祉に尽力されている方々に感謝状が贈呈されました。式典終了後、道志真弓さんによる講演会が行われました。

## 野木町社会福祉協議会長 感謝状受賞者

- ・七宝焼メルヘン会一同 様
- ・自治労栃木県本部 様
- ・株式会社CS | ジャパン 様
- ・野木町商工会女性部 様
- ・野木ライオンズクラブ 様
- ・矢畑直売所 様
- ・渡邊会計事務所 様
- ・杏林製薬株式会社 様
- ・五家英子 様
- ・五家英子とみんなで楽しく踊ろう会 よさこい野木支部 様
- ・フクダ工業株式会社 様
- ・株式会社ハリヤ 様



受賞された皆様おめでとうございます!



### 【講演会アンケートの一部をご紹介します】

普通であることがいかに幸せか、このようなお話を聞かたびに思います。（70代・女性）



今の大切さを感じ、困難を楽しみに変える事の大切さに気づきました。（80代・男性）



貴重なお話をきかせていただき感動しました。日々の生活を大事に生きようと思いました。（50代・女性）



大変深いテーマのお話でした。聞いているのは高齢者が多かったのですが、若い人たちにも聞いてほしいテーマでした。（60代・女性）



このお話は野木町の若いお父さん、お母さんたちに聞いてほしいかったですね。（60代・女性）





## 道志真弓さんによる講演会

『生きている』幸せを感じて ～奇跡の生命と共に生きた8年8ヶ月～

「昏睡状態に陥り、限界をとっくに超えているはずなのに、それでも頑張ってくれたあなた。しんどかったらいつ天国へ行ってもいいんだよ。でも、生きたいなら頑張って。ママはずっと一緒にいるからね。」

元フリーアナウンサーの道志真弓さんが、長女の弓華ちゃんと過ごした8年8ヶ月を語ると、会場からはすすり泣きの声が聞こえた。

富山県出身の道志さんは、大阪で会社員のご主人と結婚。子供に恵まれず長い不妊治療を経て、6年目にやっと長女弓華ちゃんを授かった。ところが、弓華ちゃんは世界で30数例しかない染色体異常と診断された。通常なら流産か死産に至り、日本では、こうして生きて産まれてきたのは弓華ちゃんが初めてという。心臓に4つも穴があき、腎臓にも致命的な欠陥があった。「娘さんは話すことも歩くこともできません。これから、どのくらい生きられるかも分かりません」という医師の言葉に、道志さんは打ちのめされ、ずっと泣き続けていた。

そんな道志さんが前向きになれたのは夫の言葉だったという。「いつまで泣いてんの？ 弓華が生まれてこんかった方がよかったん？ ほんとうは、流産する子供だったのに、初めて日本で生まれた子どもだよ」。「生まれた時から重い障がいを抱え、命の危険と闘っている弓華。こんなに頑張っているこの子のために、何でもしてあげたい」。弓華ちゃんの奇跡的な退院後、道志さんは仕事も辞め育児にすべてを掛けた。

ところが、心臓と腎臓に欠陥を抱えた弓華ちゃんを育てるのは、並大抵のことではなかった。「泣かさないようにして下さい。心臓発作を起こしますから」。退院時の医師の言葉が重く響いた。泣き出せばすぐに抱き上げ泣き止みます。それが24時間続く。病院へ行く回数を減らすために、注射の仕方学び、胃に通したチューブで食べ物や薬を投与する胃ろうも行った。

弓華ちゃんが2才になった年、弟の章真君が生まれた。この頃のすさまじい子育ての様子を道志さんは笑顔で振り返る。「そりゃもう大忙しでした。章真がウンチをしても、隣の弓華は心臓発作を起こすんです。章真に母乳中でもですよ…。3時間続けて寝ることはなかったですね」。それでも、毎日のようにベビーカーで連れ出し、一緒に散歩した。そして、弓華ちゃんの誕生日には、必ず旅行もした。スクリーンに映し出された家族旅行の写真は、みんなはちきれそうな笑顔。「重度の障がいを背負っていても、わが子が生きているだけで幸せ」と言う道志さんに気負いは見えない。

その後、弓華ちゃんは成功率10%未満という心臓手術を乗り越え、心臓発作の心配は無くなった。だが、腎臓は治らなかった。3才の時、医師から余命1ヵ月と宣告された。だが、奇跡が起きた。4才、5才と余命がずっと更新され続けた。その頃、章真君は、姉の胃ろうのチューブ交換を手伝ったり、注射の液を手で温めたりと、幼いながらも大きな助っ人になっていた。

ご主人の転勤で熊本に越したのは弓華ちゃんが6才の時。すでに腎臓の限界が近づいていた。それでも、誕生日記念の家族旅行は続けた。スクリーンには、すべてを覚悟した上で、今の幸せを楽しむ家族の姿があった。8才の冬から、全身がむくんできた。尿毒症が起きたのだ。呼吸もままならない日が続いた。とうとう、その年の春、道志さんが洗濯物を干した後、急いで戻ってきて抱くと、それを待っていたかのように弓華ちゃんは息を引き取った。「最期は私の腕の中で亡くなってほしい」。その願いは叶えられた。「ありがとう、弓ちゃん」。素直に感謝の気持ちを言えたのは、この8年8ヶ月が幸せだったから…。「いっぱい笑って、いっぱい泣いた。弓華は私に青春をくれた」と語る。そして、弟の章真君には「優しさ」というプレゼントをくれた。

最後に、「生まれてこなかったらよかったという命なんてありません」と、力強い声でしめくくった道志さん。弓華の話聞いて、多くの人を感じてくれる。そこに弓華が生まれてきた意味が大きいと…。

講演の終了後、会場からは「これからも多くの人たちに伝えてください」という励ましの声があがった。子供への虐待や学校でのいじめ、そして若者の自殺…そんな殺伐とした世の中で、この「命の重さ」の話に、会場の多くの人々が優しいぬくもりを感じたにちがいない。生まれた時から重度の障がいを持って懸命に生きぬいた弓華ちゃん。普通に生まれて生きていることの幸せをかみしめたい。そして、この話を、特に子育てで悩んでいるあなたに、そして、「自分なんて生まれてこなきゃよかった」と思っている君に、是非、聞いてほしい！

(道志真弓著「笑顔の戦士」)



平成27年度  
赤い羽根共同募金にご協力いただき  
ありがとうございました。



©中央共同募金会

法人募金協力事業所 (順不同・敬称略)

(株)日誠工業	寿工業(株)
(有)平澤製作所	坂本香料(株)野木工場
(株)ヒラサワ	弘電商事(株)古河支店
(有)山田製作所	(有)丸イ瓦工業
(有)渡辺塗装工業所	(有)針谷工務店
フクダ工業(株)	道浦工業(株)
杏林製菓(株)開発研究所	虎屋電機(株)野木店
東洋精工(株)	(株)ハリヤ
(有)川島自動車工場	(有)峯造園
日本ビストロ(株)栃木工場	浅野パッケージ(株)
(株)伊藤段ボール関東	(有)館野造園
栄研化学(株)野木事業所	小山農業協同組合野木支店
十條パッケージ(株)	

平成27年度 赤い羽根共同募金実績表

募金(内訳)	協力(世帯)数	金額(円)
友 沼	380	154,000
松 原	724	280,900
新 橋	1,457	532,105
野 木	448	187,200
野 渡	365	145,300
南 赤 塚	528	211,200
中 谷	97	38,800
丸 林 東	1,009	407,810
丸 林 西	659	263,800
潤 島	543	216,800
若 林	175	70,700
佐 川 野	241	96,400
川 田	151	60,400
戸別募金合計	6,777	2,665,415
街頭募金	2ヶ所	45,722
職域募金	2ヶ所	6,825
法人募金	25社	179,000
設置募金箱	9ヶ所	48,369
イベント募金	1ヶ所	7,486
利 息		124
総 合 計		2,952,941

みなさまからご協力いただいた募金は、地域福祉活動に使わせていただきます。

- 県内福祉施設等への配分  
(県配分委員会により配分先や金額が決定され、栃木県内の福祉施設へ配分されます。)
- 野木町地域福祉活動への配分
  - ひとり暮らし高齢者の交流事業
  - 学童・生徒V普及事業他



©中央共同募金会

貸付制度のご案内

教育支援資金(教育支援費・就学支度費)

この制度は、栃木県社会福祉協議会でおこない、他資金からの借入れが困難な低所得者世帯に属する者が学校教育法に規定する高等学校、大学、または高等専門学校に就学するのに必要な経費及び入学に際し必要な経費を貸付するものです。

なお、貸付利子は無利子で、償還期限は20年以内です。

※貸付には、世帯の所得制限等の貸付要件がありますので、詳しくは下記までお問い合わせください。

※他制度が利用できる場合は、そちらが優先となります。

(例 日本政策金融公庫の国の教育ローン、母子寡婦福祉資金貸付 他)

◎教育支援資金

資金種類	貸付限度	措置期間	償還期間	貸付利子
教育支援費	高校…月35,000円以内 高専…月60,000円以内 短大…月60,000円以内 大学…月65,000円以内	卒業後 3ヶ月以内	措置期間 経過後 20年以内	無利子
就学支度費	500,000円以内			

## 《街かどカフェ『すまいる』がオープンしました》

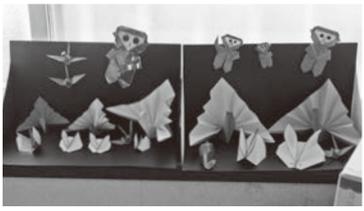
高齢とともに外出や人との交流が困難になってきます。人との付き合いが少なくなってくると認知症の発症率が高くなってくるとも言われております。

街かどカフェ『すまいる』は高齢者の「もう一つの居場所」として気軽に出向き、お茶を飲みながら人との雑談や時には折り紙などで楽しく一時が過ごせるところです。

- 【場 所】 野木町丸林225-3 (町立図書館の近く)  
☎23-6367
- 【開催日時】 月曜～金曜日 (祝日もオープン)  
午前10時～午後3時
- 【利用料金】 1日 100円 (出入り自由、お茶、コーヒー、紅茶を準備しています)
- 【参加者】 65歳以上の方は誰でも参加できます

この他、街かどカフェ『すまいる』は子育て中のお母さんや子どもの交流場所や高齢者以外の趣味活動の場所なども用意しています。

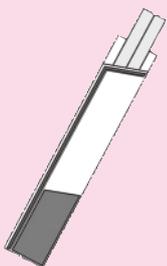
是非一度お出かけください。お待ちしております。



## 《ご協力お願いします》

現在、社会福祉協議会では以下のものを回収しております。皆様のご協力をお願いします。

【回収しているもの】



使用済み割りばし



使用済み切手



ペットボトルキャップ

《ご注意ください》  
当会では現在、プルタブの回収は行っておりません。

【問合せ先】  
野木町社会福祉協議会 ☎57-3100

## 野木町デマンド交通「キラ輪号」

『キラ輪号』は、「通院」、「買い物」、「役場・公民館・ホープ館」、「駅」あるいは「お友達の家」等に行くのに利用されています。

ゴヨウの方はゴーゴーイコー  
予約センター ☎54-5515

予約受付時間：運行日の午前8:00～午後4:30

運 行 日：月曜から金曜日

※土曜日、日曜日、祝日、8/13～16、12/29～1/3は運休です。

問い合わせ先

町都市整備課 ☎57-4161

町社会福祉協議会 ☎57-3100



## デマンドタクシー キラ輪号からのお知らせ

デマンドタクシーをご利用いただき誠にありがとうございます。

デマンドタクシーは乗り合いのため、他にも同じ便に予約された方がいれば道順に回り、それぞれの目的地まで運行します。そのためお迎えの時間が20分～30分ほど遅れる場合があります。

お約束の時間がある場合のご利用の際は、時間に余裕をもった便の予約をお願いします。

皆様のご理解・ご協力をお願いします。

キラ輪号予約センター

# 《ボランティア募集のお知らせ》

## 《送迎ボランティア》

国分寺特別支援学校に通学する児童がいますが、家庭の事情により通学バスの停留所(野木町役場)までの手立てがない方の送迎に協力していただける方を、募集しています。

ご協力をお願いします。

■送迎内容 児童の自宅(野木町野木)から野木町役場までの自家用車での送迎

■送迎時間 月曜日～金曜日(月1回～2回程度)

登校時/午前7時45分 自宅

下校時/午後3時 野木町役場



## 《配食ボランティア(同乗者)》

配食ボランティアは、ひとり暮らし高齢者等に、毎週金曜日昼食用のお弁当を届け、地域の方の暮らしを地域の人々の力で支えていく、時間を活かした活動です。同乗者として活動していただける方を募集しています。ご協力をお願いします。

■活動日 金曜日(月1回程度)

■配食時間 午前10時45分～正午まで



【問合せ・申込先】 野木町社会福祉協議会 ☎57-3100

# 災害時の持ち出し品の準備はできていますか？

昨年9月に発生した大雨災害は、私たちに自然災害の恐ろしさについての教訓を与えました。あらためて、平時から災害が発生した場合、どのように対応し、行動すればよいかを確認しておくことが大切となります。

今回は非常時持ち出し品をご紹介します。イラストを参考に、自分や家族の状況に応じて必要なものを選びましょう。特に高齢者は避難する時、老眼鏡と入れ歯を忘れないようにしましょう。

### 非常持ち出し品(一次持ち出し品)

<b>貴重品</b> 緊急IDカード、印鑑、現金、健康保険証、身分証明書、母子健康手帳、銀行の口座番号・生命保険契約番号など	<b>情報収集用品</b> 携帯ラジオ、予備の電池、家族の写真(はくれた時の確認用)、小銭(公衆電話用に10円玉・100円玉)、家族との災害時の取り決めメモ、携帯電話、予備の電池、非常用携帯電話充電器、筆記用具	
<b>便利品など</b> 防災ずきんまたはヘルメット、懐中電灯、予備の電池、笛やブザー(音を出して居場所を知らせるもの)、万能ナイフ、使い捨てカイロ、マスク、ビニール袋、アルミ製保温シート、毛布、スリッパ、単手または革製手袋、マッチライター、給水袋、雨具、レインコート	<b>食料など</b> 非常食、飲料水	<b>清潔・健康のためのもの</b> 常備薬、救急セット、タオル、お薬手帳、ティッシュペーパー、トイレトペーパー、着替え、下着
<b>その他</b> 瓶おむつ(乳幼児用・高齢者用など)、生理用品、予備の眼鏡、杖など自分の生活に欠かせないもの		

非常時に持ち出すものは、リュック等にまとめ、重くなりすぎないように必要最低限のものを選びましょう。



(引用：日本赤十字社 東京支部資料)

# ボランティア活動保険のお知らせ

ボランティア活動の行き帰りも保障されます

保険金の種類	ご加入プラン・補償金額	
	Aプラン	Bプラン
死亡保険金	1,200万円	1,800万円
後遺障害保険金	1,200万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)
入院保険金日額	6,500円	10,000円
ケガの補償 手術保険金	入院中の手術	65,000円
	外来の手術	32,500円
通院保険金日額	4,000円	6,000円
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円 (限度額)
	基本タイプ	300円
年間保険料	天災タイプ※ (基本+地震・噴火・津波)	430円
		650円

【注意点】

- ※天災タイプでは、天災(地震・噴火・津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象にはなりません。
- ◆補償期間の途中で加入される場合も年額の保険料をいただきます。なお、中途脱退による保険料の返戻はありません。
- ◆途中でボランティアの入替えや、ご加入プラン・タイプの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれか1口のみとなります。
- ◆複数口加入の場合でも補償は1口のみとなります。

※補償期間

平成28年4月1日午前0時から平成29年3月31日午後12時まで。中途加入の場合は、加入手続きの完了した日の翌日午前0時から平成29年3月31日午後12時までとなります。

【問合せ・申込先】 野木町社会福祉協議会 ☎57-3100

# 『ふれあい福祉総合相談』のお知らせ

野木町社会福祉協議会では、日頃から抱えているいろいろな悩みや問題について、相談に応じられるように「ふれあい福祉総合相談」を開設しています。

## 法律(弁護士)相談

- 相談日：奇数月の第3木曜日  
午前10時～正午  
3/17  
～法律に関わる相談のある方～
- 予約が必要ですので、下記までご連絡ください。

## 心配ごと相談

- 相談日：毎月第1・第3水曜日  
午前10時～正午  
～家庭の悩み・心配ごとのある方～

## ボランティア相談

- 相談日：月～金曜日  
午前8時30分～午後5時15分  
～ボランティア保険の加入や、社会福祉支援活動等に関する相談のある方～

## 介護相談

- 相談日：月～金曜日  
午前8時30分～午後5時15分  
～介護に関する相談のある方～

## 生活資金・地域福祉権利擁護相談

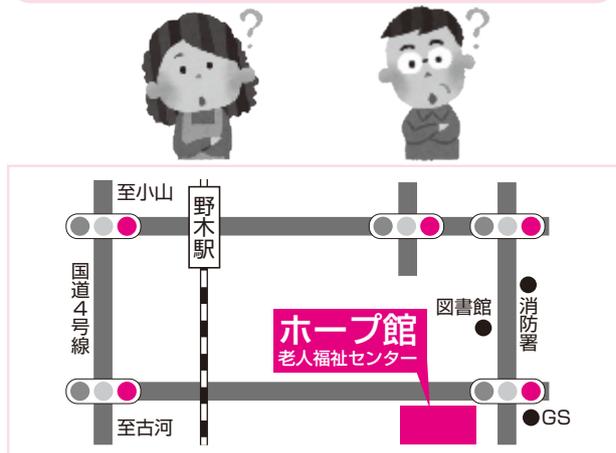
- 相談日：月～金曜日  
午前8時30分～午後5時15分  
～生活資金や日常金銭管理に心配のある方～

### 相談は

- 無料です
- 秘密は厳守いたします
- 法律相談は、事前予約が必要

### 場所・問い合わせ先

野木町社会福祉協議会  
(野木町老人センター内)  
電話 57-3100  
FAX 57-3101





## 第2回ひとりぐらし高齢者の交流会



野木町社会福祉協議会では、第2回ひとりぐらし高齢者の交流会を開催いたします。参加ご希望の方は、下記によりお申込みください。

- ◆日 時 平成28年2月24日(水) 午前10時～午後1時
- ◆場 所 ホープ館（野木町老人福祉センター）
- ◆内 容
  - ・「笑う門には福来る～笑って健康寿命を延ばしましょう」  
高岩 初枝 氏
  - ・「フラダンス」 トーチジンジャー
  - ・「ウクレレ演奏」 伴 光夫 他
  - ・会食会
- ◆参加対象者 町内在住65歳以上のひとりぐらしの方
- ◆申込定員 70名（定員になり次第締め切らせていただきます。）
- ◆申込方法 申込受付は2月8日(月)～2月15日(月)です。



☎57-3100 又は直接野木町社会福祉協議会（ホープ館）まで申し込んでください。また当日、ホープ館（老人福祉センター）までお越しになることが困難な方は、送迎いたしますので、送迎を申込みの際、その旨をお伝えください。



## 善意の寄付



### 《11月》

・古河ヤクルト販売株式会社 様 …… 38,000円



・株式会社CS | ジャパン 様 …… 20,000円  
・図書館まつり(図書館カフェ) 様 …… 731円

### 《12月》

・七宝焼メルヘン会 様 …… 11,000円  
・ひまわり平成会 様 …… 15,807円  
・野辺サイ 様 …… 介護用品  
・日本ピストンリング労働組合 様 …… 15,000円

ありがとうございました!!

## 車イスをご利用ください

日常生活上車イスを必要とする方のために、無料で車イスを貸し出しています。

### 【貸出要件】

- ・町内在住の方
- 注：介護保険の要介護2以上の認定を受けられた方は、介護保険が優先されます。ただし、手続き中の方は貸し出しません。
- ・1回の貸し出し期間は2ヶ月以内とさせていただきますが、延長される場合は、更新を含め1年以内になります。



ご希望の方は、町社会福祉協議会  
電話 57-3100  
までお申込みください。

